

STOP CORONAVIRUS



アンサンブルポニーかつしか 会長 上原成介

- 1, コロナ感染が恐ろしく、3月から練習を休み、4月から現在まで練習会場である学校の使用が中止されて全く練習ができません。
- 2, 6月12日現在学校使用再開の見通しはありません。学校の授業が通常通りに戻れば私達の使用も検討してもらえるかと期待。
- 3, 定期演奏会は結成30周年記念として4月4日を予定していましたが、2月末時点で無理と判断して10月8日(木)に延期を決定しました。ところがこれも実施出来るか危うくなってきました。やる方も聴きに来る方も高齢者ですので、演奏会は慎重に考えたいと思います。
- 4, このような状況が続きますと団員の合奏するという気持ちが、萎えてくるのではないかと心配しています。

シニアアンサンブルスルーザヨコスカ 代表 清水玲子

4月より練習会場の閉鎖もありまして練習中止とし、自主練習に専念しています。
7月・8月はマスクをしての外出は熱中症の心配もありますので9月頃の開始を考えていましたが、三密を避けるため広い会場を確保しての練習は難しく未定です。全員合奏にこだわらず演奏する気持ちが萎える事のないよう、小グループの練習や団員同士のコミュニケーションを図る方法も検討しましたが、立ち消えに終わりました。団員一同練習再開を願っています。

牛久シニアアンサンブル 副代表 田淵 崇

定演追い込み練習ま近の3月からコロナが吹き荒れ、茨城も首都圏一角により特定警戒県となり、練習会場、定演会場(牛久市生涯学習センター大ホール)ともに閉鎖・使用禁止となり5月24日の第二回はあえなく中止、見事に延期となりました。当初は、秋の11月に順延としましたが、安全を期して再度来年の1月27日(水)に再順延としました。

6月から練習会場が漸く使用可とはなりましたが、マスク着用の弦・鍵盤・打楽器のみで3ヶ月の練習ブランクにもめげず、岡村代表の指揮棒で練習スタートを果たしました。22日よりは管楽器も人数制限で吹奏できるようになります。7月からの正常練習スタイルの復活で団員一同第二回定演に向けての再始動を待ち望んでいます。

取手シニアアンサンブル 代表 宮崎 正

全シ連関係者の皆様、この度の新型コロナウイルス感染症では、皆様大変ご苦労されたと存じます。取手シニアアンサンブルのコロナ禍での団員の皆様の関わりました近況報告をさせていただきます。

企画担当の方が電子媒体の「かわら版メール」を立ち上げて下さり、癒しの花、ガーデニングや動物の写真とか、あるいは猫の躰、例えばお座り、お手、待て。などの動画や楽器演奏の動画を団員の皆様だけではなくありますがユーチューブでアップしたり、団員の方が川柳などをアップして下さり楽しみました。また、何名かの女性の方が、取手SEの団員の皆様に手作りのマスクを作って下さり、郵送で送って下さいました。大変ありがたく思っています。

練習は3月から6月まで休みました、7月から練習を再開しています。定期演奏会は令和3年の5月16日(日)にしました。取手市民会館を予約してあります。

新型コロナウイルス感染症の1波の時には第1戦で奮闘されている病院の院長先生、先生方看護師の皆様、従事されている皆様、ご老人の施設宛に、微力ではありますが励ましのお手紙など3ヶ所にお送りさせて頂きました。その後、先生方にお会いしたり、施設の方からお電話を頂きました。皆様手紙を読んで下さり、大変、喜んで下さいました。これもひとえに団員の皆様のおかげです。

♡「我が家の猫」 <https://youtu.be/b0zpWpni5w>

